江別市立大麻西小学校で実際に景観学習に取り組みました。

この「景観学習プログラム」の作成にあたっては、江別市立大麻西小学校のご協力のもと作成しました。景観学習の手引き（裏面参照）で設定したステップに配慮していただき、5学年（2学級・58人）の総合学習の中で景観学習に取り組みました。（平成17年5月～12月、合計35時間）

ステップ1 投げかけ・導入

●景観とは

○学習計画を立てよう
○ほかの人の景観の見方を聞いてみよう
○ほかのまちの景観から考えよう
○デジカメ・パソコンの使い方
○写真におさめてみよう
○まとめ方を教えてもらおう

ステップ2 発見

●江別の景観を見てみよう

○江別市の景観を調べよう
○「気になる景観」ウォッチング
　○ウォッチングの結果をまとめよう
　○ウォッチングのまとめを発表しよう

江別って、いろんなすてきなところがあるんだ

ステップ3 探究

●もっと調べてみよう

○もっと調べたいことを考えよう
○テーマ別にグループをつくろう
○まずは調べてみよう
○質問状を送ろう
○現地に出向いて取材しよう

良い景観にするには、自分たちの努力が必要なんだ

ステップ4 まとめ・評価

●みんなに伝えよう

○取材したことをまとめよう
○調べたことを発表しよう
○学年でポスターセッション
○全校朝会で発表
○地域のみんなに聞いてもらおう
○景観学習をふり返ろう

道内のほかの学校でも景観学習に取り組みました。

●地域の大人たちと一緒に学習
～網走市立呼人小学校（5･6年生16名、11時間）

○総合的な学習の時間で、地域の大人たちで構成する「景観担い手塾」のメンバーと景観ウォッチング、花植えなどを行い、網走らしい景観、呼人地区を良くすることの大切さを学びました。（平成17年実施）

●生活科、理科の時間も活用、全学年で実施
～鹿追町立笹川小学校（1～6年生20名、延べ32時間）

○自然観察や野菜・花の栽培、校庭の花植えを通じて、季節とともに移り変わる景観の美しさ、身の周りの環境をきれいにすることの大切さを学びました。（平成15年実施）

※北海道では美しい景観のくにづくりに向けて、「北海道美しい景観のくにづくり条例」を制定し、市町村をまたぐ広域景観づくりなどの取り組みも進めています。詳しくは、ホームページをご覧ください。
http://www.pref.hokkaido.jp/kensetu/kn-mdmdr/
※ワークブック掲載の写真など教材として使ってもらうための写真素材（データ）を用意してありますので、お問い合わせ下さい。

■景観学習プログラムの配布・情報提供に関するお問い合わせは
北海道
北海道建設部都市計画課まちづくり推進グループ
〒060-8588　札幌市中央区北3条西6丁目
TEL　011-231-4111（内線　29-826）
E-mail：kensetsu.machisui2@pref.hokkaido.jp
または各支庁経済部建設指導課　主査（まちづくり）へ

テーマは子どもたちが見つける！

景観学習のご案内

―『景観』からアプローチする総合学習―

私たちの生活や産業の営みが、まちや自然の環境と重なり合って見えるものを「景観」といいます。例えば、通勤・通学で目にする街路樹や花で彩られたまち並み、友達と遊んだ公園、家族と出かける商店街、神社のお祭り、虫とりをした森の風景。初めて訪れたまちなのに、わくわくしたり、ほっとしたり、懐かしい気持ちにさせてくれる土地や人々の営み。

北海道には、地域ごとに多様で魅力ある景観がつくりだされています。

景観学習プログラムは、地域のかけがえのない財産である景観を未来へ引き継ぐ大切さを学んでいただくために作成しました。

みなさんの学校や地域でぜひ活用してみませんか。

景観学習って、どんなことを学ぶの？

景観学習は、子どもたちが自らの目で地域の財産である景観を見つけ、その成り立ちや暮らしとのかかわりを調べ、自らもどうかかわるかを考える学習です。

（こんな思いを持った人たちが）→（こんな努力をして）→（今、目に見える景観はこうなっている）→（だから大事なんだ！）→（私にもこんなことができる！）というようなことを子どもたち自らが学んでいくものです。

景観学習って、おもしろい！

- 子どもたちがテーマを見つけるのに最適！
- 地域を見つめるきっかけづくりに最適！
- 総合的な学習の時間などに活用できる！